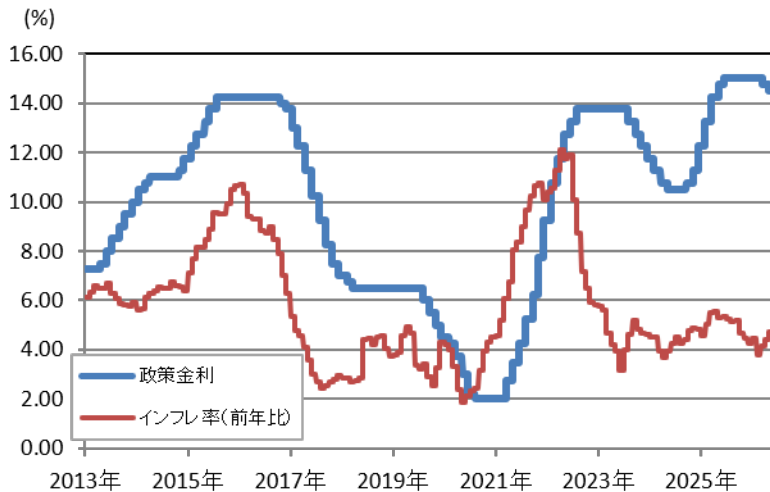


ブラジルの政策金利の引き下げについて

2026年6月17日（現地時間）、ブラジル中央銀行は COPOM（金融政策委員会）において Selic（政策金利）を 0.25%引き下げ、年率 14.25%とすることを全会一致で決定しました。今年3月に利下げを開始して以降、3会合連続での利下げとなりました。

ブラジル中銀は今回の声明で、足元の物価上昇率が中銀の目標を上回って加速していることからインフレ見通しを上方修正しましたが、その一方で、米国とイランの和平合意内容が未確定であることなどから世界情勢は依然として不確実性が高いと述べたほか、国内経済は2026年通年としては減速傾向を維持するとの見方を示しました。長期にわたり高金利政策を続けることによる景気への影響を考慮したと見られます。その上で、物価の安定という目標を堅持するとともに景気の変動を平滑化する観点から、金融政策の調整サイクルを進めることが適切と判断したと説明しました。なお、政策金利の先行きについては、明確なガイダンスは示されませんでした。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
(2013年1月1日～2026年6月17日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2025年7月30日	15.00	0.00
2025年9月17日	15.00	0.00
2025年11月5日	15.00	0.00
2025年12月10日	15.00	0.00
2026年1月28日	15.00	0.00
2026年3月18日	14.75	-0.25
2026年4月29日	14.50	-0.25
2026年6月17日	14.25	-0.25

* 政策金利は Selic、インフレ率は拡大消費者物価指数 (IPCA) を使用。
* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータより BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。